

平成29年(2017)年度

収 支 報 告 書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

目 次

(1) 平成29年度の決算の概要	P1-5
① 資金収支計算書	
② 活動区分資金収支計算書	
③ 事業活動収支計算書	
④ 貸借対照表	
⑤ 財産目録	
(2) 経年比較(5年間)	P6-10
① 収支計算書	
② 貸借対照表	
③ 財務比率表	
(3) 企業会計と学校法人会計との相違	P11
(4) その他…解説	P12~15

学校法人 鶴岡学園

(1) 平成29年度の決算の概要

資金収支計算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,921,338,201	2,920,577,448	760,753
手数料収入	31,937,600	32,831,060	△ 893,460
寄付金収入	17,274,755	17,918,500	△ 643,745
補助金収入	467,634,020	472,914,304	△ 5,280,284
国庫補助金収入	290,308,930	290,309,000	△ 70
都道府県補助金収入	112,255,500	116,183,244	△ 3,927,744
市町村補助金収入	8,929,590	9,068,690	△ 139,100
施設型給付費収入	56,140,000	57,353,370	△ 1,213,370
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	10,896,904	12,376,144	△ 1,479,240
受取利息・配当金収入	10,508,340	16,621,871	△ 6,113,531
雑収入	59,657,180	47,537,148	12,120,032
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	480,110,500	508,130,870	△ 28,020,370
その他の収入	92,334,401	92,783,799	△ 449,398
資金収入調整勘定	△ 569,509,660	△ 598,126,563	28,616,903
前年度繰越支払資金	5,613,374,356	5,613,374,356	
収入の部合計	9,135,556,597	9,136,938,937	△ 1,382,340

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,755,278,772	1,755,241,361	37,411
教育研究経費支出	843,519,894	837,729,022	5,790,872
管理経費支出	282,217,800	274,055,063	8,162,737
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	39,911,000	43,282,080	△ 3,371,080
設備関係支出	117,939,308	119,804,826	△ 1,865,518
資産運用支出	150,000,000	150,000,000	0
その他の支出	56,500,268	56,890,737	△ 390,469
[予備費]	(50,000,000) 0		0
資金支出調整勘定	△ 59,060,987	△ 107,033,439	47,972,452
翌年度繰越支払資金	5,949,250,542	6,006,969,287	△ 57,718,745
支出の部合計	9,135,556,597	9,136,938,937	△ 1,382,340

活動区分資金収支計算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

		科 目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,920,577,448
		手数料収入	32,831,060
		特別寄付金収入	1,888,500
		経常費等補助金収入	472,914,304
		付随事業収入	12,376,144
		雑収入	47,537,148
		教育活動資金収入計	3,488,124,604
	支出	人件費支出	1,755,241,361
		教育研究経費支出	837,729,022
		管理経費支出	274,019,063
		教育活動資金支出計	2,866,989,446
	差引	621,135,158	
	調整勘定等	44,402,574	
	教育活動資金収支差額	665,537,732	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備寄付金収入	16,030,000
		施設整備等活動資金収入計	16,030,000
	支出	施設関係支出	43,282,080
		設備関係支出	119,804,826
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000,000
		施設設備引当特定資産繰入支出	100,000,000
		施設整備等活動資金支出計	313,086,906
		差引	△ 297,056,906
		調整勘定等	8,254,793
		施設整備等活動資金収支差額	△ 288,802,113
	小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	376,735,619	
その他の活動による資金収支	科 目		金額
	収入	短期貸付金回収収入	291,315
		預り金受入収入	488,083
		小計	779,398
		受取利息・配当金収入	16,621,871
		その他の活動資金収入計	17,401,269
	支出	長期貸付金支払支出	300,000
		立替金支出	129,579
		小計	429,579
		過年度修正支出	36,000
		その他の活動資金支出計	465,579
	差引	16,935,690	
	調整勘定等	△ 76,378	
	その他の活動資金収支差額	16,859,312	
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	393,594,931	
	前年度繰越支払資金	5,613,374,356	
	翌年度繰越支払資金	6,006,969,287	

(1) 平成29年度の決算の概要

事業活動収支計算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入			
	科目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金	2,921,338,201	2,920,577,448	760,753
	手数料	31,937,600	32,831,060	△ 893,460
	寄付金	17,432,755	2,659,220	14,773,535
	経常費等補助金	467,634,020	472,914,304	△ 5,280,284
	国庫補助金	290,308,930	290,309,000	△ 70
	都道府県補助金	112,255,500	116,183,244	△ 3,927,744
	市町村補助金	8,929,590	9,068,690	△ 139,100
	施設型給付費	56,140,000	57,353,370	△ 1,213,370
	付随事業収入	10,896,904	12,376,144	△ 1,479,240
	雑収入	59,657,180	47,537,148	12,120,032
	教育活動収入計	3,508,896,660	3,488,895,324	20,001,336
支出	科目	予 算	決 算	差 異
	人件費	1,812,378,772	1,776,758,757	35,620,015
	教育研究経費	1,171,547,894	1,162,037,060	9,510,834
	管理経費	310,447,800	302,356,401	8,091,399
	徴収不能額等	0	11,598,000	△ 11,598,000
	教育活動支出計	3,294,374,466	3,252,750,218	41,624,248
	教育活動収支差額	214,522,194	236,145,106	△ 21,622,912
教育活動外収支	収入			
	科目	予 算	決 算	差 異
	受取利息・配当金	10,508,340	16,621,871	△ 6,113,531
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	10,508,340	16,621,871	△ 6,113,531
	支出			
	科目	予 算	決 算	差 異
借入金等利息	0	0	0	
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	10,508,340	16,621,871	△ 6,113,531	
経常収支差額	225,030,534	252,766,977	△ 27,736,443	
特別収支	収入			
	科目	予 算	決 算	差 異
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	5,626,000	17,644,858	△ 12,018,858
	特別収入計	5,626,000	17,644,858	△ 12,018,858
	支出			
	科目	予 算	決 算	差 異
	資産処分差額	0	5,122,082	△ 5,122,082
	その他の特別支出	36,000	36,000	0
	特別支出計	36,000	5,158,082	△ 5,122,082
特別収支差額	5,590,000	12,486,776	△ 6,896,776	
[予備費]	(50,000,000)		0	
基本金組入前当年度収支差額	230,620,534	265,253,753	△ 34,633,219	
基本金組入額合計	△ 202,833,416	△ 140,760,615	△ 62,072,801	
当年度収支差額	27,787,118	124,493,138	△ 96,706,020	
前年度繰越収支差額	467,219,979	467,219,979	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	495,007,097	591,713,117	△ 96,706,020	
(参考)				
事業活動収入計	3,525,031,000	3,523,162,053	1,868,947	
事業活動支出計	3,294,410,466	3,257,908,300	36,502,166	

(1) 平成29年度の決算の概要

貸借対照表
平成30年 3月31日

(単位 円)

資産の部

科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,810,192,826	8,852,447,800	△ 42,254,974
流動資産	6,060,073,108	5,706,907,159	353,165,949
資産の部合計	14,870,265,934	14,559,354,959	310,910,975

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	510,457,327	481,718,385	28,738,942
流動負債	645,825,008	628,906,728	16,918,280
負債の部合計	1,156,282,335	1,110,625,113	45,657,222

純資産の部

科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	13,122,270,482	12,981,509,867	140,760,615
繰越収支差額	591,713,117	467,219,979	124,493,138
純資産の部合計	13,713,983,599	13,448,729,846	265,253,753

科目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	14,870,265,934	14,559,354,959	310,910,975

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

I	資産総額	14,870,265,934 円
内	基本財産	7,254,436,100 円
	運用財産	7,615,829,834 円
	収益事業用財産	0 円
II	負債総額	1,156,282,335 円
III	純資産	13,713,983,599 円

区 分	金 額
資 産 額	
1 基本財産	
土地(団地)	
校地	210,420.85 m ² 913,627,876 円
建物	
(1) 校舎等	52,191.18 m ² 5,108,538,649 円
構築物	103,296,546 円
教具・校具・備品	10,627 点 488,485,761 円
図書	208,393 冊 637,306,663 円
車両	6 台 3,180,605 円
2 運用財産	
預金・現金	
現金 現金手許有高	499,206 円
普通預金 定期預金	6,006,470,081 円
特定資産	1,520,000,000 円
有価証券	1 株 36,624 円
不動産	8,930 m ² 10,800,000 円
未収金	43 件 48,041,903 円
前払金	10 件 4,072,339 円
ソフトウェア	5 件 22,053,150 円
その他	3,856,531 円
3 収益事業用財産	
該当なし	0 円
資 産 総 額	14,870,265,934 円
負 債 額	
1 固定負債	
長期借入金	0 円
日本私立学校振興・共済事業団	0 円
長期未払金	59,672,985 円
退職給与引当金	450,784,342 円
2 流動負債	
短期借入金	0 円
前受金	508,310,870 円
未払金	98,169,630 円
預り金	39,344,508 円
負 債 総 額	1,156,282,335 円
純 資 産 (資産総額-負債総額)	13,713,983,599 円

財務運営の状況

経年比較：資金収支計算書

(単位：千円)

(単位：千円)

科 目	25年度	26年度	
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,073,892	3,096,727
	手数料収入	45,078	45,617
	寄付金収入	1,100	2,053
	補助金収入	366,556	370,090
	資産運用収入	3,267	6,268
	資産売却収入	0	0
	事業収入	12,796	8,930
	雑収入	50,897	108,928
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	627,117	582,014
	その他の収入	84,242	228,119
	資金収入調整勘定	△ 706,404	△ 743,848
	前年度繰越支払資金	3,840,492	4,181,425
	合 計	7,399,033	7,886,323
支出の部	人件費支出	1,546,628	1,672,315
	教育研究経費支出	751,411	663,253
	管理経費支出	230,807	228,595
	借入金等利息支出	0	0
	借入金等返済支出	0	0
	施設関係支出	14,434	145,042
	設備関係支出	54,828	78,141
	資産運用支出	550,000	300,000
	その他の支出	122,127	61,421
	資金支出調整勘定	△ 52,627	△ 44,287
	次年度繰越支払資金	4,181,425	4,781,843
合 計	7,399,033	7,886,323	

科 目	27年度	28年度	29年度	
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,061,712	3,001,584	2,920,577
	手数料収入	45,921	36,690	32,831
	寄付金収入	8,615	9,953	17,919
	補助金収入	359,246	408,136	472,914
	資産売却収入	0	0	0
	付随事業・収益事業収入	12,759	10,507	12,376
	受取利息・配当金収入	2,483	13,748	16,622
	雑収入	57,055	89,201	47,537
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	594,339	535,901	508,131
	その他の収入	113,364	1,172,777	92,784
	資金収入調整勘定	△ 648,915	△ 693,657	△ 598,127
	前年度繰越支払資金	4,781,843	4,945,431	5,613,374
	収入の部合計(A)	8,388,422	9,530,271	9,136,938
支出の部	人件費支出	1,593,631	1,699,725	1,755,241
	教育研究経費支出	656,522	735,819	837,729
	管理経費支出	234,822	235,511	274,055
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	488,195	806,650	43,282
	設備関係支出	105,779	341,063	119,804
	資産運用支出	350,000	150,000	150,000
	その他の支出	50,385	40,475	56,891
	資金支出調整勘定	△ 36,343	△ 92,346	△ 107,033
予備費	0	0	0	
支出の部合計(B)	3,442,991	3,916,897	3,129,969	
次年度繰越支払資金(A)-(B)	4,945,431	5,613,374	6,006,969	

事業活動収支計算書

(2) 経年比較(5年間)

(消費収支計算書)

(事業活動収支計算書)

(単位：千円)

(単位：千円)

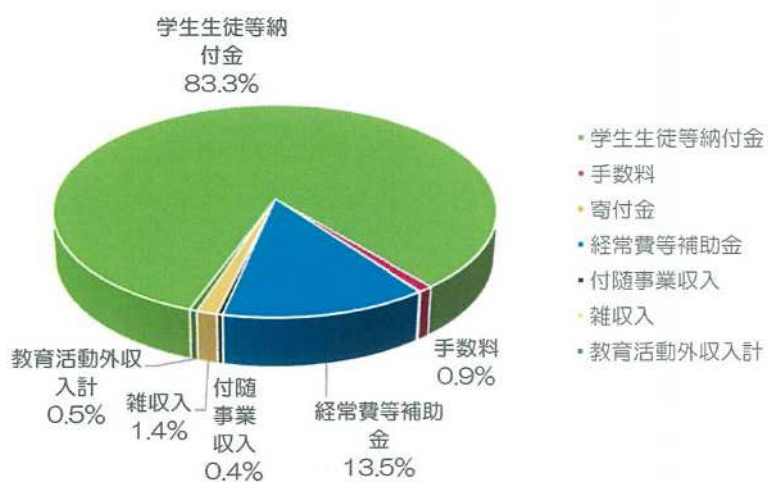
科	目	25年度	26年度
消費収入の部	学生生徒等納付金(ア)	3,073,892	3,096,727
	手数料	45,078	45,617
	寄付金(イ)	6,325	13,508
	補助金(ウ)	366,556	370,090
	資産運用収入	3,267	6,268
	資産売却差額(エ)	0	0
	うち、有価証券売却差額	0	0
	事業収入	12,796	8,930
	雑収入	50,897	108,928
	合計(オ)	3,558,811	3,650,068
消費支出の部	基本金組入額(カ)	△ 310,948	△ 311,194
	(第1号基本金組入額)	△ 4,948	
	(第2号基本金組入額)	△ 300,000	
	(第3号基本金組入額)	0	
	(第4号基本金組入額)	△ 6,000	
	消費収入(オ-カ)(キ)	3,247,863	3,338,874
消費支出の部	人件費(ク)	1,560,222	1,675,952
	教育研究経費(ケ)	1,007,660	894,908
	うち、減価償却額	254,977	228,136
	管理経費(コ)	273,053	270,669
	うち、減価償却額	42,246	42,049
	借入金等利息(サ)	0	0
	資産処分差額(シ)	6,396	1,106
	徴収不能引当金繰入額(又は、徴収不能額)(ス)	748	639
	消費支出合計(セ)	2,848,079	2,853,188
当年度消費収入超過額(キ-セ)			
(又は△当年度消費支出超過額)		399,784	485,687
前年度繰越消費収入超過額			
(又は△前年度繰越消費支出超過額)		△ 1,106,824	△ 694,271
基本金取崩額		12,769	0
翌年度繰越消費収入超過額			
(又は△翌年度繰越消費支出超過額)		△ 694,271	△ 208,584
帰属収支差額(オ)-(セ)		710,732	796,880
{(オ)-(イ)-(エ)}-{(セ)-(シ)-(ス)}		711,551	785,117

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	3,061,712	3,001,584	2,920,578
	手数料	45,921	36,690	32,831
	寄付金	1,159	1,361	2,659
	経常費等補助金	359,246	408,135	472,914
	付随事業収入	12,759	10,507	12,376
	雑収入	55,537	89,201	47,537
	教育活動収入計	3,536,334	3,547,478	3,488,895
	事業活動支出の部			
	人件費	1,601,876	1,717,989	1,776,759
教育研究経費	903,479	1,014,802	1,162,037	
管理経費	261,315	262,860	302,356	
徴収不能額等	2,655	24,956	11,598	
教育活動支出計	2,769,325	3,020,607	3,252,750	
教育活動収支差額	767,009	526,871	236,145	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	2,483	13,748	16,622
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,483	13,748	16,622
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	2,483	13,748	16,622	
経常収支差額	769,492	540,619	252,767	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	15,607	45,812	17,645
	特別収入計	15,607	45,812	17,645
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	2,833	59,393	5,122
その他の特別支出	38,856	0	36	
特別支出計	41,689	59,393	5,158	
特別収支差額	△ 26,082	13,654,590	12,487	
〔予備費〕				
基本金組入前当年度収支差額	743,410	548,032	265,254	
基本金組入額合計	△ 814,995	△ 76,531	△ 140,761	
当年度収支差額	△ 71,583	13,713,983	124,493	
前年度繰越収支差額	△ 208,584	△ 279,803	467,220	
基本金取崩額	367	275,522	0	
翌年度繰越収支差額	△ 279,803	13,709,702	591,713	

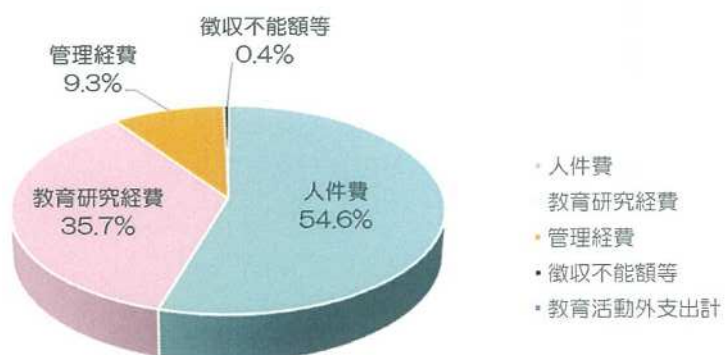
(参考)

事業活動収入計	3,554,424	3,607,038	3,523,162
事業活動支出計	2,811,014	3,059,006	3,257,908

經常收入(教育活動收入+教育活動外收入)構成



經常支出(教育活動支出+教育活動外支出)構成



経年比較：貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	25年度	26年度
固 定 資 産 (a)	8,249,095	8,349,042
有 形 固 定 資 産	6,388,836	6,355,772
うち、土地	803,313	924,428
うち、建物	4,595,243	4,440,011
うち、構築物	86,464	74,413
うち、教育研究用機器備品	266,536	260,467
そ の 他 の 固 定 資 産	1,860,259	1,993,270
うち、収益事業元入金	0	0
うち、減価償却引当特定資産	550,000	550,000
流 動 資 産 (b)	4,246,725	4,893,283
うち、現金・預金		
(c)	4,181,425	4,781,843
うち、有価証券	0	0
そ の 他	65,300	111,440
合 計 (d)	12,495,820	13,242,325

負 債 ・ 基 本 金 及 び 消 費 収 支 差 額 の 部		
科 目	25年度	26年度
負 債 (e)	1,134,631	1,085,036
固 定 負 債 (f)	420,824	423,270
うち、長期借入金	0	0
うち、学校債	0	0
うち、退職給与引当金	396,436	402,758
流 動 負 債 (g)	713,807	661,766
うち、短期借入金	0	0
うち、前受金 (h)	627,117	582,014
基 本 金 (i)	12,054,679	12,365,873
ア 第 1 号 基 本 金	11,119,679	11,338,873
イ 第 2 号 基 本 金	710,000	800,000
ウ 第 3 号 基 本 金	20,000	20,000
エ 第 4 号 基 本 金	205,000	207,000
消 費 収 支 差 額 (j)	△ 693,490	△ 208,584
消費支出準備金	0	0
翌年度繰越消費収入		
超過額又は△翌年度繰越消費支出超過額	△ 694,271	△ 208,584
合 計 (e) + (i) + (j)	12,495,820	13,242,325
減価償却額の累計額の合計額	4,743,387	5,001,180
基本金未組入額 (k)	31,159	29,561

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	27年度	28年度	29年度
固 定 資 産	8,983,693	8,852,447	8,810,193
有 形 固 定 資 産	6,647,528	7,462,382	7,265,236
うち、土地	924,428	924,427	924,428
うち、建物	4,277,884	5,290,232	5,108,539
うち、構築物	69,677	116,085	103,297
うち、教育研究用機器備品	254,032	490,030	464,228
特 定 資 産	2,320,000	1,370,000	1,520,000
うち、第2号基本金引当特定資産	1,100,000	50,000	100,000
うち、第3号基本金引当特定資産	20,000	20,000	20,000
うち、退職給与引当特定資産	300,000	300,000	300,000
うち、減価償却引当特定資産	550,000	550,000	550,000
うち、施設設備引当特定資産	250,000	350,000	450,000
うち、奨学資金引当特定資産	100,000	100,000	100,000
その他の固定資産	16,165	20,066	24,956
流 動 資 産 (b)	5,012,859	5,706,907	6,060,073
うち、現金・預金	4,945,431	5,613,374	6,006,969
うち、有価証券	0	0	0
そ の 他	67,428	93,533	53,104
合 計	13,996,552	14,559,355	14,870,265

負 債 の 部			
科 目	27年度	28年度	29年度
負 債	1,095,854	1,110,626	1,156,282
固 定 負 債	426,879	481,719	510,457
うち、長期借入金	0	0	0
うち、退職給与引当金	426,879	429,267	450,784
流 動 負 債	668,975	628,907	645,825
うち、前受金	596,940	537,202	508,311
純 資 産 の 部			
科 目	27年度	28年度	29年度
純 資 産	12,900,698	13,448,729	13,713,983
基 本 金	13,180,501	28,475,305	29,175,961
ア 第 1 号 基 本 金	11,853,501	12,709,510	12,788,270
イ 第 2 号 基 本 金	1,100,000	50,000	100,000
ウ 第 3 号 基 本 金	20,000	20,000	20,000
エ 第 4 号 基 本 金	207,000	202,000	214,000
繰越収支差額	△ 279,803	467,220	591,713
翌年度繰越収支差額	△ 279,803	467,220	591,713
負債及び純資産の部合計	13,996,552	14,559,355	14,870,265

主な財務比率比較

分類	比率	区分		A算式(×100)		B算式(×100)		
		A算式(×100)	B算式(×100)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
貸借対照表	繰越収支差額構成比率 (消費収支差額構成比率)	消費収支差額 総資金	繰越収支差額 総負債+純資産	5.5	1.6	2.0	3.2	4.0
	基本金比率	基本金 基本金要組入額	基本金 基本金要組入額	99.7	99.8	99.8	97.6	100.0
	固定比率	固定資産 自己資金	固定資産 純資産	68.3	67.4	69.6	65.8	64.2
	固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	固定資産 純資産+固定負債	66.0	63.0	67.4	63.5	61.9
	流動比率	流動資産 流動負債	流動資産 流動負債	594.9	739.4	750.4	909.2	940.9
	前受金保有率	現金預金 前受金	現金預金 前受金	666.8	821.6	828.5	1044.9	1181.8
	総負債比率	総負債 総資産	総負債 総資産	9.1	8.2	7.8	7.6	7.8
	負債率	総負債-前受金 総資産	総負債-前受金 純資産	10.0	8.9	3.6	8.3	4.7
	基本金実質組入率	自己資金 基本金要組入額	純資産 基本金要組入額	94.0	98.1	97.9	103.0	104.5
消費収支計算書	人件費比率	人件費 帰属収入	人件費 経常収入	43.8	45.9	45.3	48.2	50.7
	教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	教育研究経費 経常収入	28.3	24.5	25.5	28.5	33.1
	管理経費比率	管理経費 帰属収入	管理経費 経常収入	7.7	7.4	7.4	7.4	8.6
	消費支出比率	消費支出 帰属収入	事業活動支出 事業活動収入	80.0	78.2	79.1	84.8	92.5
	【経常経費依存率】	消費支出 学生生徒等納付金	事業活動支出 学生生徒等納付金	92.7	92.1	91.8	101.9	111.6
	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	学生生徒等納付金 経常収入	86.4	84.8	86.5	84.3	83.3
	寄付金比率	寄付金 帰属収入	寄付金 事業活動収入	0.2	0.4	0.3	0.3	0.1
	補助金比率	補助金 帰属収入	補助金 事業活動収入	10.3	10.1	10.1	11.3	13.4
	基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	基本金組入額 事業活動収入	8.7	8.5	22.9	2.1	4.0

(4) 企業会計と学校法人会計との相違

企業会計は、一定の期間を人為的に区切った会計期間ごとの損益計算によって、企業の経営状況を明らかにしています。企業の経営に影響を及ぼす状況は刻々と変化していることから、投資家や債権者は1年よりも短い半期や四半期ごとの情報開示を求めており、利益計算はより短縮化する傾向にあります。

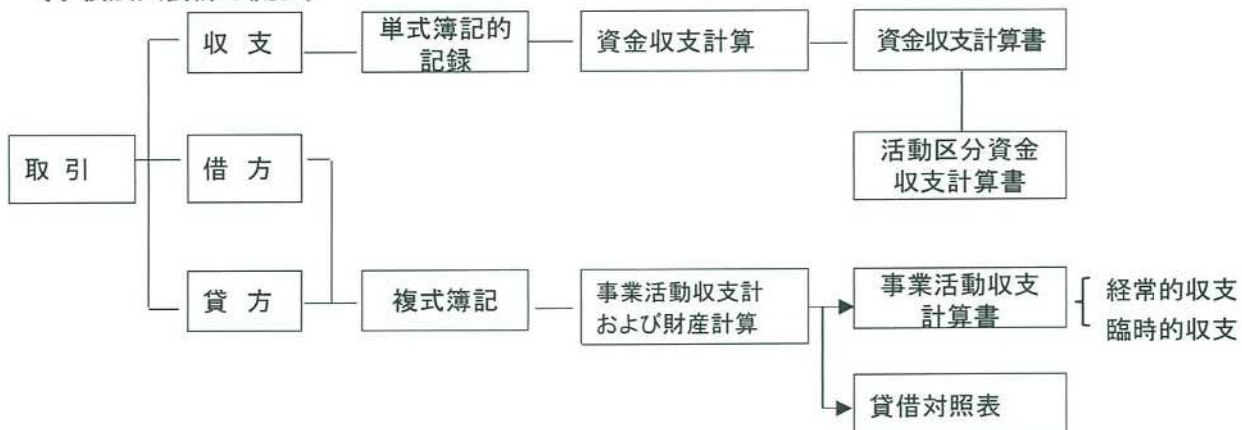
一方で、学校法人は大学の場合、学生が一度入学すれば、基本的には4年間の収入が確保され、さらには年度ごとに見れば授業料を先取りで徴収できるという企業とは大きく異なる収益構造にあります。したがって、学校法人会計は必ずしも短期的な利益計算が目的ではなく、中長期的な収支の均衡（プラスないしゼロ）が目的になります。

学校法人会計における計算構造は複式簿記を基本としており、企業会計の計算構造と基本的には同一ですが以下のように作成する計算書類の違いがあります。

〔企業会計の流れ〕



〔学校法人会計の流れ〕



学校法人会計の特徴

学校法人会計の資金収支計算書は支払資金（現金をいつでも引き出すことのできる預貯金）について、その増減および残高を単式簿記のような計算体系で記録するものです。ところが資金収支計算書では学校法人の活動状況の把握が難しいので、これを活動区分別に並べ替えた活動資金収支計算書は企業のキャッシュフロー計算書に近いものとなります。

学校法人は営利を目的としない非営利組織であるため、利益を得ることが目的の企業とは異なります。企業会計のような損益計算をそのまま適用することは出来ません。そこで学校法人会計において、企業会計の損益計算に類似した複式簿記の計算体系である事業活動収支計算によって「事業活動収支計算書」と「貸借対照表」の2つの計算書類を作成します。

したがって、学校法人会計基準では、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の3つの計算書類を作成しなければなりません。

《参考文献》

平成25年4月改正学校法人会計基準対応版

これならわかる！学校会計

～いまさら聞けない・これから知りたい～

(5) その他…解説

(1) 資金収支計算とは

- ◎当該会計年度に行なった諸活動に対するすべての収入と支出の内容
- ◎当該年度に係る支払資金（現金及び預金等いつでも引き出せる預貯金）の収入と支出のてん末を明らかにしています。

資金収支計算書における勘定科目（学校法人会計基準 第 10 条関係）では、各勘定科目の末尾に「収入」または「支出」をつけることで、事業活動収支計算書の勘定科目と区別をしています。大科目の説明をします。

<収入の部>

① 学生生徒等納付金収入

授業料等学則に定められたものを計上します。入学・在学することを条件に納付するもので、教育サービスの対価として徴収されます。学校会計で、最も大きなウエイトを占めている収入です。授業料収入、入学金収入、実験実習費収入、教育充実費収入等が主な小科目です。

② 手数料収入

学校が用役を提供した対価として徴収する料金です。入学試験の入学検定料収入、証明書等の発行手数料の証明手数料収入が主なものです。

③ 寄付金収入

学校法人が寄付として収受したものです。用途指定のある特別寄付金、用途指定のない一般寄付金を計上します。

④ 補助金収入

国、地方公共団体及びこれらに準ずる団体から交付される補助のことをいいます。それ以外の団体などから受け入れるものは寄付金収入に計上します。

⑤ 資産売却収入

学校法人の持っている固定資産を売却した時に発生する収入で、有価証券や土地等の売却時に発生する収入です。不動産売却収入、有価証券売却収入等が主な小科目です。

⑥ 付随事業・収益事業収入

学校法人の付随事業で発生する、受託事業や収益事業で得られる収入です。学校会計は、収入と支出を相殺しないで総額で表示するのが原則ですが、補助活動事業については、収入と支出を相殺して純額で表示することが認められています。補助活動（事業）収入や受託事業収入等が主な小科目です。

⑦ 受取利息・配当金収入

第 3 号基本金引当特定資産の運用によって得られた収入や、その他の預金、貸付金等の利息、金融商品の運用利息・配当などの収入をいいます。

⑧ 雑収入

①～⑦以外の学校法人に帰属する収入で、退職金財団交付金、固定資産に含まれない物品の売却（廃品売却等）が主な収入です。退職金財団（社団）交付金収入やその他の雑収入が主な小科目です。

⑨借入金等収入

外部資金を導入する場合の収入で、借入金や学校債などがあります。返済期限が決算日以降に到来するものを長期借入金収入、翌年度中(=1年以内)に返済するものを短期借入金収入と区分けします。学校債には長期、短期の区分はありません。

⑩前受金収入

学校法人の場合、翌年度入学生の学生生徒等納付金を前年度に収納し、前受金収入として計上しています。これは、当該年度の事業活動収入とは区分し負債勘定として、翌年度の学生生徒等納付金収入に振替をおこなうことで、資金の源泉を確保して、安定した財政状態を維持することを目的としています。授業料前受金収入や入学金前受け収入等が主な小科目です。

⑪その他の収入

上記の収入以外で、資金源泉からの収入を意味します。前期末未収入金収入や貸付金回収収入等が主な小科目です。

⑫資金収入調整勘定

期末未収入金は、本来、当該年度末までに入金すべきものが、何らかの理由で翌年度に入金されるものを計上します。前期末前受金は、当該年度の4月以降に正勘定科目に振り替えられる前年度の前受金をいいます。期末未収入金や前期末前受金等が主な小科目です。

⑬前年度繰越支払資金

前年度末の現・預金残高に一致し、当該年度に繰り越された支払資金です。

<支出の部>

①人件費支出

学校法人との雇用契約に基づく教職員等への支出です。教員人件費支出や職員人件費支出・役員報酬等が主な小科目です。

②教育研究経費支出・管理経費支出

教育研究のために要する経費を教育研究経費支出、教育研究経費支出以外の経費支出が管理経費支出となります。

③借入金等利息支出

借入金に対する利息分の支出です。

④借入金等返済支出

借入金に対する元本部分の返済による支出です。

⑤施設関係支出

土地、建物、構築物、建設仮勘定等土地や土地に付着する固定資産の支出です。

⑥設備関係支出

耐用年数が1年以上の備品、図書、車輛等の支出です。備品の耐用年数、計上金額は各学校法人の経理規程などによって規定されています。教育研究用機器備品やその他の機器備品、図書支出等が主な小科目です。

⑦資産運用支出

資産の運用を目的で取得するもので、主に金融資産を取得するための支出です。

⑧その他の支出

上記以外の支出です。経過勘定的な科目の支出は、その他の支出に該当します。資産・負債の増減に影響のある科目が該当し、費用的な支出は含みません。

⑨資金支出調整勘定

資金収入調整勘定と同様に、期末未払金は実際の支払行為はされていませんが、当該年度に正勘定科目に振替処理をおこないます。期末未払金や前期末前払金等が主な小科目です。

⑩翌年度繰越支払資金

当該年度末の現・預金の残高に一致して、翌年度に繰り越される支払資金の金額です。

(2) 事業活動収支計算とは

収益と費用を対比することで利益を計算する企業会計の損益計算書の考え方を基礎とした計算構造によって、学校法人の消費収支のバランスをみるものです。なぜ営利を追求しない学校法人が企業と同様に消費収支のバランスに着目するかというと永続的な学校法人の運営には消費収支のバランスが重要な条件になるからです。

資金収支計算書にはない事業活動収支計算書の勘定科目の説明をします。

①現物寄付金

機器備品や図書などの金銭以外の資産を現物として受け入れる寄付のことです。

②資産売却差額、資産処分差額

固定資産や有価証券などのその他の資産を売却した場合に、資産の帳簿価格より高い金額で売却した場合は資産売却差額が発生します。逆に資産の帳簿価格より低い金額で売却した場合は資産処分差額が発生します。

③徴収不能額・徴収不能引当金繰入額・徴収不能引当金戻入額

未収入金が次年度以降に支払われない場合には、未収入金を教育活動収支の事業活動支出の部に「徴収不能額」として処理します。

金銭債権に徴収不能のおそれがある場合には徴収不能の見込額を徴収不能引当金に繰り入れることが会計基準で求められています。これは企業会計でいう貸倒引当金に相当します。

④退職給与引当金繰入額・退職給与引当金戻入額

退職給与引当金とは、教職員が退職した際に支払われる退職金の支払いにあらかじめ備え、貸借対照表上の負債勘定に計上しておくもので、毎年度、退職給与引当金を算定し、退職給与引当金の不足分を消費収支計算で退職給与引当金繰入額として消費支出の部に計上します。

前期末引当金<当年度要支給額・・・退職給与引当金繰入額

前期末引当金>当年度要支給額・・・退職給与引当金戻入額

⑤基本金組入額

学校法人が第1号基本金の組み入れ対象となる固定資産を取得するとその取得価格相当額は基本金の要組入額になります。

⑥減価償却

固定資産の価値が年々減少していくものとして、あらかじめ減少にする額について、その年度の消費支出額として設定しておき、実際に資金の支払いは伴わないもの。

《参考文献》

学校経理研究会 『これならわかる！学校会計』
～いまさら聞けない・これから知りたい～
大学行政管理学会 財務研究グループ編
(平成26年5月)